

貸借対照表  
(平成26年8月31日現在)

株式会社リンク・セオリー・ジャパン

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	21,907,479	流動負債	6,957,947
現金及び預金	10,444,992	買掛金	3,503,931
売掛金	2,516,507	リース債務	381,358
商品	6,220,284	未払金	1,270,374
貯蔵品	345,181	未払費用	603,263
未収入金	121,221	その他	1,199,019
前払費用	4,232		
その他	2,255,059		
固定資産	9,931,997	固定負債	1,186,966
有形固定資産	3,606,434	リース債務	839,960
建物	968,630	資産除去債務	106,221
構築物	11,353	その他	240,784
工具器具備品	11,002	負債合計	8,144,914
リース資産	1,212,372	純資産の部	
土地	1,389,315	株主資本	23,594,200
建設仮勘定	13,759	資本金	10,000
無形固定資産	75,298	資本剰余金	10,895,501
ソフトウェア	14,060	利益剰余金	12,688,698
その他	61,238	利益準備金	2,500
投資その他の資産	6,250,264	繰越利益剰余金	12,686,198
長期前払費用	125,947	評価・換算差額金等	100,362
敷金保証金	1,195,131	その他有価証券評価差額金	737
関係会社長期貸付金	4,723,281	繰延ヘッジ損益	99,624
その他	205,904	純資産合計	23,694,562
資産合計	31,839,476	負債純資産合計	31,839,476

## 個別注記表

### 重要な会計方針

#### 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 商品

移動平均法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

##### (2) 貯蔵品

最終仕入原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 3～10年

工具器具備品 3～10年

##### (2) リース資産：

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成20年8月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっております。

#### 3. 引当金の計上方法

貸倒引当金：債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金：従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

#### 4. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### 5. ヘッジ会計の方法

事業活動に伴う為替変動リスクを管理しヘッジするため、為替予約取引のデリバティブ取引を行っております。ヘッジ会計の方法につきましては、繰延ヘッジ処理の方法によっております。為替予約が付されている外貨建金銭債務につきましては、振当処理によっております。

#### 6. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

### 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 1. 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当事業年度末の株式数(株)
普通株式	200